

静的解析ツール指摘を、 自動で修正し解消するAIツール

静的解析ツールの指摘対応は、多くの手作業と反復作業を伴います。本ツールは、静的解析ツールが出力した指摘内容を対象に、コード修正を自動で行い、指摘の解消を支援するAIツール(CERT C・MISRA C対応版)です。ローカルLLM環境「Krugle」を前提に、開発現場で実際に使われることを想定したコンテンツとして開発を進めています。
(当社はKrugleの正規販売代理店です)

ローカルLLMを前提とした 静的解析特化型AIツール



機密情報を外部に出すことなく、現場の修正作業を支援します。

CERT C・MISRA C に対応



使用予定の2社に協力頂き、企業のニーズを反映した、コーディング規約への対応を拡大中です。

従来人手で行われてきた指摘抽出・コード修正・再解析といった反復作業に対し、生成AIを活用してコード修正工程を自動化し、下流工程の効率化を支援します。



導入判断のためのポイント

各社の修正方針に合わせた事前チューニングを想定

導入前に動作させ、結果に対するチューニング工数を想定しています。

本製品利用のためにKrugle購入を検討する企業様:

Krugleトライアル期間に、本ツールで期待通りの結果に到達できるかの確認フェーズを設定推奨



資本業務提携

2025年4月Krugle社との
連携強化による開発促進



現在開発中

静的解析指摘修正
AIツールの機能拡充



2026年10月

正式版リリース。
CERT C・MISRA C対応版の公開

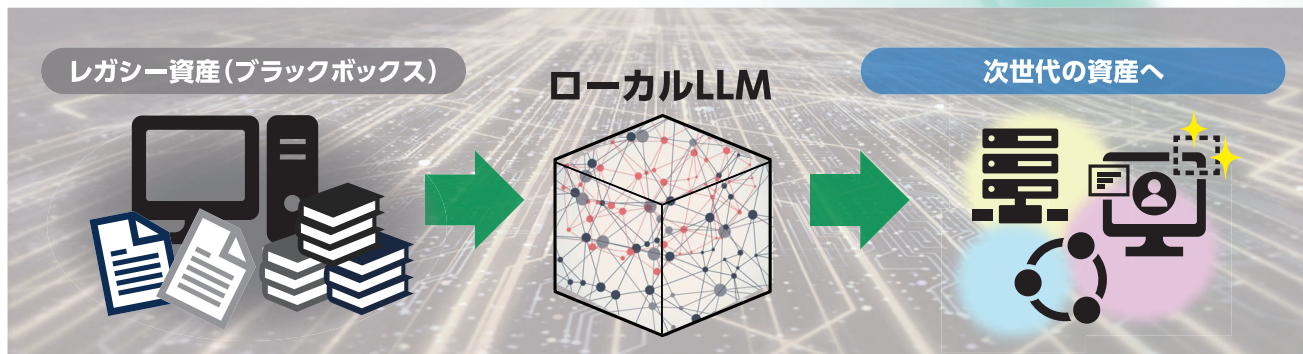
今後の取り組み

単体テスト設計支援など



ローカルLLMを活用した レガシーマイグレーション支援

ローカルLLMを活用し、レガシーシステムの設計書やソースコードを理解しながらマイグレーションを支援します。外部に持ち出せない重要資産を社内環境で整理・可視化し、現実的な移行判断につなげます。特定のLLMやツールに依存せず、目的に応じた技術選定と伴走型支援を行います。



細く・長く取り組みたい企業向けの支援スタイル

レガシーマイグレーションは、一度で完了する取り組みではありません。将来的な内製化や継続的な改善を見据え、必要なタイミングで技術的な支援を受けられる形も用意しています。



テクニカルサポート

40時間以上であれば、契約時間を調整可能な技術支援サービスです。

必要なシーン(レビュー・問題解析、教育)に合わせての利用や段階的に減らしていくなど柔軟な支援が可能です。



このようなお客様におすすめ

- レガシーマイグレーションを段階的に進めたい
- 将来的には内製化を目指したい
- 継続的な取り組みは必要だが、人月固定や長期契約は避けたい

プライベートLLM環境(Krugle)を活用した支援実績

ローカルLLMを用いた資産解析・理解の取り組みを通じ、実運用に耐える生成AI活用の知見を蓄積しています。

【特徴】AI活用伴走プログラム

単に技術者を派遣するのではなく、目的達成に向けた伴走型支援として、Krugleの活用方法から日々の疑問解消までを一貫してサポートします。また、Krugle社との連携により、より実践的なノウハウ提供が可能です。生成AIの力で、これまでの“負の遺産”を次世代につなげます。



- 生成AI(Krugle)を最大限に活用
- Krugleの些細な疑問も当社が巻き取り解決
- Krugle社との連携により、より多くのノウハウ提供が可能

日本システム開発株式会社 <https://www.nskint.co.jp>

本社 〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1丁目47番1号(名古屋国際センタービル9F)
東京本社 〒163-0408 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号(新宿三井ビルディング8F)
お問い合わせ 組込み営業担当 E-Mail: emb-sales@nskint.co.jp

お問い合わせフォーム

